

サンテックパワージャパン 「武雄太陽光発電所Ⅱ」向けに、太陽光発電設備を納入 ～FIT 制度終了後の再エネ市場を見据え～

<発表内容のポイント>

- サンテックパワージャパンが武雄太陽光発電所Ⅱに太陽電池モジュールとパワーコンディショナを納入
- サンテックパワージャパンが発電所の保守管理業務（O&M サービス）を受注



サンテックパワージャパン株式会社（本社：東京都新宿区、取締役社長 ガオ ジャン、以降サンテックパワーと表記）は 10 月 25 日、PHOTON JAPAN 合同会社（本社：東京都港区、代表者：前北正幸）が佐賀県武雄市に完成させた武雄太陽光発電所Ⅱに対して、サンテックパワー製の太陽電池モジュール 4,410 枚と、サンテックパワーが調達したファーウェイ社製パワーコンディショナ 32 台を納入したことを発表しました。当該太陽光発電所は、13,344.64 m²の敷地に、サンテックパワー製 325W の太陽電池モジュールが設置され、出力は 1,433.25kW となります。

また、サンテックパワーでは、当該太陽光発電所の保守管理業務（O&M サービス）も受注いたしました。今後 20 年間の発電所稼働において、発電所の安全運用と、発電量維持に向けた保守管理を行います。O&M サービスでは月次の目視点検、草刈などの環境整備、年次法定点検の調整を行い、長期安定稼働を支えます。

低 FIT 時代となっている昨今、当社では発電所の建設に使用する機器や部材に関して、グループ会社や中国メーカーとのリレーションにより高品質な製品を安価に調達できる体制を構築しています。さらに自社の O&M サービスを活用することでランニングコストを抑え、事業性を確保していきます。

<発電所 概要>

発電所名	武雄太陽光発電所Ⅱ
発電事業者	武雄クリーンエナジー合同会社
開発者	PHOTON JAPAN 合同会社
施工者	大和ハウス工業株式会社
売電開始	2018年10月25日
発電能力	1,433.25kW
初年度予測発電量	1,655,000kWh/年（当社試算による）
モジュール	サンテックパワー製（多結晶 325W x 4,410枚）
パワーコンディショナ	ファーウェイ社製 33.3kW x 32台
遠隔監視	メテオコントロール社製
敷地面積	13,344.64 m ² （1.33ha）
O&M 事業者	サンテックパワー
売電価格	21 円/kWh（税抜）
着工日	2018年7月13日

<サンテックパワージャパンについて>

サンテックパワージャパンは、順風国際清潔能源有限公司（Shunfeng International Clean Energy Ltd. 通称 SFCE、香港証券取引所コード 1165）の 100%子会社です。前身である株式会社 MSK 時代から 35 年以上にわたり先進的な太陽光発電専門メーカーとして、発電性能と耐久性に優れた太陽電池モジュールを提供しています。またサンテックパワージャパンが誇る長野テクニカルサポートセンターは、豊富な経験と実績に基づく妥協を許さない技術サポートを行っています。充実した保証制度とともに、太陽光発電に携わるあらゆるユーザーのために最高のサービスを提供しています。これからもサンテックパワージャパンは長期安定的な太陽光発電のために製品や技術の高度化に努めてまいります。
